

2017年2月21日

株式会社 リクルート ホールディングス

**リクルートホールディングスが運営する「クリエイションギャラリーG8」にて本日スタート！
ファッションブランドmintdesignsの魅力を体感できる展覧会
「mintdesigns / graphic & textile works 2001-2017」展 開催！**

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「クリエイションギャラリーG8」（<http://rcc.recruit.co.jp/>）では2017年2月21日（火）より3月25日（土）の期間、「mintdesigns / graphic & textile works 2001-2017」展を開催いたします。

「mintdesigns / graphic & textile works 2001-2017」展について

ミントデザインズは、ともにロンドンのセントラル・セント・マーチンズ・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインを卒業後、日本に帰国した勝井北斗と八木奈央により、2001年に設立されました。ミントデザインズが提案する衣服は、大胆で豊かな色合いや、グラフィカルでユニークなモチーフのテキスタイルを特徴とし、多くのファンを獲得してきました。近年では、ミラノサローネへの参加や毎日ファッション大賞の受賞、台北、福岡をはじめとする国内外での個展の開催、雑貨や家具、和菓子といった異業種とのコラボレーションなど、ファッションの枠にとらわれず、多岐にわたり注目を集め続けています。

設立から16年を迎えた現在でも、彼らの活動の根底にあるのは、ブランド設立当初掲げたコンセプトである「ファッションをプロダクトデザインのひとつとして確立したい」というもの。めまぐるしく変わり続けるトレンドに流されることなく、日常生活の時間をじっくりと豊かにするプロダクトのような、息の長い服作りを目指す彼ら。テキスタイルの製作をはじめ、素材からのものづくりにこだわり、真摯に素材と向き合うことで、特性を理解しながら、試行錯誤を繰り返す。ファッションのルールに寄り添いつつも、プロダクトデザインという独自の新たな視点に加え、遊び心あふれるグラフィックワークで、ミントデザインズのオリジナリティーを確立してきました。

本展は、一貫したコンセプトでファッションデザインの領域を拡大し、デザインの魅力を発信し続けてきたミントデザインズの世界観を、ギャラリーの3つの空間を使って表現します。「身につけることのできるグラフィック」というプロダクトをデザインする、ミントデザインズの魅力を体感できる展覧会です。



本展覧会ポスター

<展覧会概要>

- 企画展名 「mintdesigns / graphic & textile works 2001-2017」
- 会期 2017年2月21日（火）～3月25日（土） 11:00～19:00 日曜・祝日休館／入場無料
- 主催・会場 クリエイションギャラリーG8
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1階
TEL 03-6835-2260 <http://rcc.recruit.co.jp/>
- 協力 西日本新聞社
- オープニングパーティー 2017年2月21日(火) 19:00～20:30

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit.jp/support/form/>

■作家プロフィール



ミントデザインズ

2000年、勝井北斗（かついほくと）、八木奈央（やぎなお）とともにセントラル・セント・マーチンズ・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン（ロンドン）卒業。

01年mintdesigns設立。03年春夏より東京コレクション参加。

05年第7回モエ・エ・シャンドン新人デザイナー賞受賞。10年 第28回毎日ファッション大賞受賞。

13年個展「ミントデザインズ-happy people」金沢21世紀美術館デザインギャラリー。

15年作品集『MINTDESIGNS』（青幻舎）を刊行。16年東京青山に路面店「mintdesigns aoyama」をオープン。現在、大阪成蹊大学環境デザイン学科客員教授。

<展覧会開催に寄せて>

本展では、昨年、福岡、名古屋で巡回開催された、ミントデザインズの制作背景、アイデアソースを展示した「MATERIAL DICTIONARY」展を、新たに感覚に訴えかけるインスタレーションとして作品発表いたします。私たちミントデザインズの新たなヴィジュアルメッセージをご覧ください。

ミントデザインズ
勝井北斗 八木奈央

■mintdesigns作品例



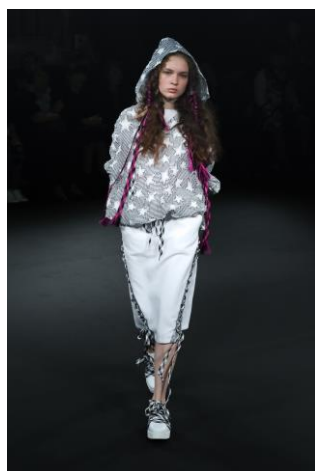
2014 S/S Collection "vertigo" Photo: Fashionsnap.com



2012 A/W Collection "fragile" Photo: Yoshitsugu Enomoto



2011 A/W Collection "fashion surgery" Photo: Yoshitsugu Enomoto



2017 S/S Collection "SUBWAY"



Welcome to the Doll House 2006 Photo: Kasane Nogawa



Fall in Pop (Canon Milano Salone) 2012 Photo: Daisuke Ohki



"beedoro-dama" Toraya 2009 Photo: Kosuke Tamura

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。